

# 第14回 遺伝療育講演会

～染色体疾患・遺伝子疾患のある子どもの支援 2025～

運動発達や知的発達に課題のある子どもたちの中には、その背景として様々な症候群や疾患があることがあります。近年のゲノム医学の進歩によって、数多くの染色体や遺伝子の変化による疾患が診断されるようになりました。保険収載される遺伝学的検査が増え、遺伝子や染色体による疾患が以前より身近になっています。原因を明らかにする意義は、それによって子どもたちの特性を知り、日常生活・療育・教育の場でより良い対応をすることにあります。一方で子どもも家庭もそれぞれ違いがあり、必要としている支援も様々です。医療・療育・教育・福祉の現場で働く方々が、子どもたちの疾患特性を理解して支援に役立てられるように遺伝講演会を行っています。

今回は外部講師として、豊田市こども発達センターの大野敦子先生にご講演をお願いしました。療育センターでのご経験を踏まえて、子どもを取り巻く環境の変化、医療の変化と現在の支援のあり方についてお話しいたします。子どもとその家族との関りをテーマに、子どもの成長・発達・健康を様々な立場からみなさんと一緒に考えたいと思います。ご関心のある方の参加をお待ちしております。

今回も申込時のアンケート内容の一部を講演及び質疑応答で取り上げますので、子どもの生活の中でお気づきの点をお寄せいただければ幸いです。

日 時	令和7年11月9日(日) 13時30分～16時30分(13時開場)
場 所	愛知県産業労働センター(ウインクあいち)11階 1107会議室 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38
参加対象者	染色体及び遺伝子疾患を持つ子どもの支援に関わる医師、看護師、リハビリスタッフ 教員、療育福祉関係者など
参加費	無料
*プログラム*	
13:30～13:35	オリエンテーション
13:35～14:20	「長期的な視点を持った先天性遺伝性疾患の子どもの支援」 愛知県医療療育総合センター中央病院 遺伝診療科部長 稲葉美枝
14:20～15:05	「染色体・遺伝性疾患があるお子さんに対する作業療法 ～支援の実際について 2025～」 愛知県医療療育総合センター中央病院 リハビリテーション科長 作業療法士 小松則登
15:15～16:00	「子どもを取り巻く社会の変化と支援について ～当センターの取り組みを通して～」 豊田市こども発達センターのぞみ診療所 小児科・副診療所長 大野敦子

**申込方法**

参加ご希望の方は、10月13日（月）までに、  
右のQRコードもしくは下記のURLにアクセス  
していただき、必要事項を入力のうえお申込みく  
ださい。（あいち電子申請・届出システム）



**URL** <https://ttzk.graffer.jp/pref-aichi/smart-apply/apply-procedure-alias/1109>

**定 員 40名**

定員を超えた場合は1施設1名の参加とさせていただきますので、  
ご了承ください。事前アンケートで、現在染色体及び遺伝子疾患を持つ子どもの  
支援に関わっているとお答えの方を優先させていただきます。

申込者全員に受講選考結果をメールにて通知いたします。10月31日（金）ま  
でに通知がない場合は、下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

**お問い合わせ**

〒480-0392 春日井市神屋町713-8

愛知県医療療育総合センター 療育支援センター

地域支援課 医療的ケア児支援グループ（川井 余吾 松田）

TEL 0568-88-0811（内線 8106）

**主 催****愛知県医療療育総合センター**